

もう先送り出来な
い：IT人材不足_20
25の崖への対応

M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4
6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25
27	28				



IT業界におけるIT人材の需給ギャップが深刻化しており、2025年以降43万人以上のIT人材不足が予測されています。

01

IT人材不足の深刻さ

IT業界では年々IT人材の需要が増え続け、2025年までに43万人のIT人材が不足すると予測されています。

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/20180907_report.html

経産省リンク

02

企業に及ぼす影響

IT人材不足は、企業の成長や競争力に深刻な影響を及ぼします。既に、ITベンダーに構築依頼しても、人員不足や、地域外の理由で、断られるケースで実際に出始めています。システム更新したくても出来ない。これが現実になりつつあります

03

解決策の必要性

IT人材不足を解決するためには、早急な対策が必要です。教育・研修の充実や外部人材の活用など、幅広い施策が求められています。

老朽化したシステムの問題点

長く使い続けることで・・・

前任のシステム担当者が止めて分からない

保守切れでベンダー対応がそもそも出来ない

変化する切ビジネスの要求に対応出来ず、手間が多く
人件費・残業も増加

これらが同時多発的に発生するリスクが経年毎に
増えます。



業務プロセスの見直しの遅れが競争力の低下や効率の悪化につながることを伝えます。

競争力の低下

業務プロセスの見直しの遅れは、競合他社との差を広げます。顧客からの要求や市場の変化に対応できなくなり、競争上のメリットを失います。

効率の悪化

効率の悪化は、時間の浪費やコスト増加につながります。業務が複雑化し、手作業が増えることで作業時間が長くなり、リソースの適切な配分ができなくなります。

利益の減少

業務プロセスの見直しの遅れは利益の減少につながります。遅延やミスが増えることで、顧客からの信頼を失い売上が減少します。また、無駄な作業によるコスト増加も利益を圧迫します。

「2025年の崖」にはシステム障害、セキュリティリスク、競争力の低下のリスクが潜んでいます。



システム障害の増加

老朽化したシステムの使用により、システム障害が増加します。市場での競争力を失うリスクがあります。



セキュリティリスクの高まり

古いシステムのセキュリティ対策が不十分であるため、サイバー攻撃のリスクが高まります。重大な情報漏洩や業務停止を引き起こす可能性があります。



競争力の低下

最新技術への適応が遅れることで、競合他社に対して競争力を失います。市場での地位を保つためには迅速かつ効率的なIT戦略が必要です。



ですが、対応IT人材そのものが不足で対応困難

IT投資は企業の成長と競争力維持に不可欠

01 IT投資と成長

IT投資は、企業が成長し続けるために必要です。適切なITシステムやインフラの整備により、生産性を向上させ、新たなビジネスチャンスを生み出すことが可能です。

02 IT投資と競争力

IT投資は企業の競争力維持にも大きく関わります。現代のビジネス環境は急速に変化しており、技術の進歩やデジタル化の波に適応することが求められます。適切なIT投資により、競合他社に対して効率性や革新性を備えた優位性を持つことができます。

03 IT投資と市場変化

市場環境は日々変化しています。顧客のニーズや競合他社の動向に合わせて素早く対応することが求められます。IT投資を通じて、迅速な市場対応や柔軟なビジネスモデルの構築が可能になります。

業務プロセスの見直しによる効率化とコスト削減の重要性を伝える

日常業務の効率化

業務プロセスを見直すことで、無駄な作業を排除し、生産性を向上させることが可能です。例えば、手動で行っていた作業を自動化することで、時間を節約し、効率的に業務を遂行することができます。

コスト削減

業務プロセスの最適化により、労働力や資源の無駄を削減することができます。合理的な作業フローの構築やRPA・AIの導入により、業務負荷を減らし、人的ミスや無駄な経費を抑えることが可能です。

競争力の向上

業務プロセスの見直しと最適化は、競争力を高めるための重要な要素です。迅速かつ効率的に業務を行える企業は、顧客満足度を向上させ、競合他社との差別化を図ることができます。

コスト削減と業務の柔軟性を高めるために、クラウドサービスを活用しましょう。

01

コスト削減の実現

クラウドサービスの導入により、サーバーの購入やメンテナンスにかかるコストを削減できます。クラウド上では必要なリソースのみを使用するため、無駄な負荷がかかりません。

02

業務の柔軟性向上

クラウドサービスは非常に応じてリソースを利用できる事も多く業務の需要変動でも柔軟に対応できやすいです。スケーラビリティの高さにより、効率的なビジネス運営が可能です。

対策と取り組む べき施策





・短期：外部人材を利用して、構想や計画ほか、ダッシュ力としてエンジンをかける外部支援者の協創する

・長期：自社の強化として、IT人材の採用や社内育成を行い、継続性を目指す

早期対応の重要性



今後のビジネス環境で生き残るためには早急な対応が必要

早急な対応が競争力を維持し、ビジネスの成長を促進する鍵です。

01

2025年の崖への対応が不可欠

2025年は目の前です。そして、IT人材不足は加速します。崖への対応が企業の成長と競争力維持のために不可欠な要素です。市場環境の急速な変化に対応し、新たなビジネスチャンスを生み出すために早急な対応が求められます。

02

早急な対応で競争力を維持

2025年の崖への早急な対応は競争力を維持するための必須条件です。迅速なIT投資や業務プロセスの最適化により、市場の変化に素早く対応し、競争上の優位性を確保することができます。

01switchでは多くのデジタル化・DX推進をはじめとして実績が多数あります。ぜひご相談下さい。

